

「夏休み子ども応援ごはんプロジェクト」 をモデル実施

～夏休みの子どもの健康を地域で守る～

市は今夏、公益財団法人クジラ育英会と枚方市商業連盟と協定を締結し、学校給食のない夏休み期間中に、様々な事情で昼食を食べられない子どもに食事を提供する「夏休み子ども応援ごはんプロジェクト」のモデル実施に協力する。市内全域で広く協力店を募集し、同育英会の資金提供のもと、「夏休み子ども応援ごはん」を市内の小中学生などに無料で提供する。

★本プロジェクトの実施期間は令和7年7月18日(金)から8月25日(月)の39日間。無料の「夏休み子ども応援ごはん」提供対象者は、様々な事情により昼食が食べられない市内在住または市内の小中学校に在籍する小学生及び中学生。期間中、何度でも利用可能。

★子どもたちが自分で近くの飲食店に「夏休み子ども応援ごはん」を食べにいけるように、市内全域から広く協力店を募集し、市商業連盟にて随時受付を行う。(市商業連盟に加盟していない飲食店も申込み可。)協力店は子どもたちが見つけやすいよう「夏休み子ども応援ごはんプロジェクト」実施店の目印となる“のぼり”等を掲げる。また、協力店の情報は市や市商業連盟からもホームページなどで発信。

★このプロジェクトはクジラ育英会の「夏休みの子どもたちの健康を守りたい」との熱意により実現したもの。「給食のない夏休みの間、十分な昼食が取れない子どもたちに、地域の飲食店で食事を取ってもらいたい。子どもたちの健康を地域で守る仕組みができれば。」とクジラ育英会代表理事の砂田氏は話す。

★市商業連盟の藤下理事長は、「公益財団法人クジラ育英会の子どもの未来を思う取組みに賛同し、地域の子子どもたちが地域のお店と食を通じてつながりができれば、夏休みだけでなく日ごろからの子どもたちの安全にもつながり、地域活性化へもつながるプロジェクトとして期待している。」として協賛している。



★伏見市長は、クジラ育英会と市商業連盟の子どもたちや地域への熱い思いを受け、この夏、力強いパートナーとともに「夏休み子ども応援ごはん」の提供を通じて、地域の活性化・地域全体で子どもを育てるまちづくりを目指す。

★公益財団法人クジラ育英会は、日本の高度な建築技術を保全・発展させ、次の世代への伝承を促進すること、地域の若者に建築の職人として活躍するための教育を施し就業機会を提供すること及び児童養護施設などの児童・青少年の健全な育成に寄与することを目的に平成 29 年 7 月 27 日に設立され、令和元年 7 月 1 日に公益認定を受けた財団法人。

<お問い合わせ>

子ども未来部子ども青少年政策課

☎ : 072-841-1375 FAX : 072-843-2244 メールアドレス : kodosei@city.hirakata.osaka.jp